

排水機場訪問記

「水が語るもの」編集パートナー 梅田 和男
(近畿水管理・国土保全研究会)

はじめに

『水が語るもの』では排水機場の役割や運転管理上の課題等について読者の皆様に紹介しています。

今回と次回は平成26年8月豪雨に

由良川の概要

一級河川由良川は京都府・滋賀県・福井県の三府県境三国岳に源を発し、綾部市、福知山市を西流し、そ



由良川流域及び福知山市街地(法川、弘法川流域)位置図【出典】参考資料2

より由良川中流域の京都府福知山市街地において発生した大規模浸水被害に対する取組について紹介します。この取組は近畿地方整備局(国)・京都府・福知山市の連携により実施されたものです。

の後北東に向きを変え、舞鶴市と宮津市の市境において日本海に注いでいます。上流の南丹市美山町には昭和36年3月に旧建設省により洪水調節を主目的とする大野ダムが竣工(昭和37年4月京都府に移管)。幹線流路延長は14.6km、流域面積は1,880km²、流域は京都府、兵庫県にまたがっています。

福知山市と由良川堤防

福知山市は由良川の中流部に位置する人口約7万5千人の北近畿の中



福知山市街地を守る由良川左岸堤防(岩沢堤)【出典】参考資料1

column

明智光秀による由良川流路付替えと堤防整備



かつての由良川は現在のJR福知山駅方向に大きく湾曲するように流れていました。天正8年(1580年)に丹波地方を平定した明智光秀は城下町を開くため、竹林を植林した大堤防(「明智藪」と呼ばれ現在も残っています。)を築き、由良川の河道を現在のように付替えたと言われています。【参照：水が語るもの第22号『明智藪の再生活動を通じた街づくり』】

【出典】参考資料1

もたらしたもので、気象庁福知山観測所において観測開始以来最大の335mm/2日を記録しました。福知山市街地の法川、弘法川流域では排水機場3箇所、近畿地方整備局の排水ポンプ車9台により内水排除が実施されましたが、排水能力を上回る豪雨であったため、床上2,029戸、床下2,471戸の甚大な浸水被害が発生しました。



平成26年8月豪雨による福知山市街地の浸水状況【出典】参考資料3

関係者に聞く interview

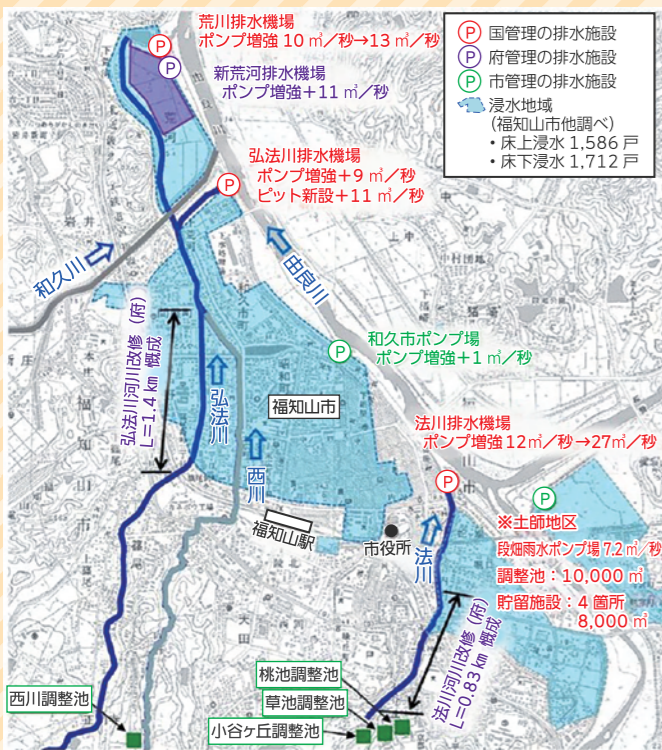
【総合的な治水対策】概要図
【出典】参考資料5

福知山河川国道事務所
流域治水課長
吉田 達也さん



平成26年8月豪雨災害を受け、国・京都府・福知山市は連携して「由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策について」(以下「総合的な治水対策」)をとりまとめ、対策を進めてきました。福知山河川国道事務所流域治水課長の吉田達也さんにお話を伺いました。

「平成26年8月豪雨で大規模浸水被害が発生した要因は何ですか。」
福知山市街地は山地と由良川に挟まれた低平地で、内水被害が発生しやすい所です。台風第11号により由良川の水位が上昇し、下がり切らな



「総合的な治水対策」による排水機場の新設・増強等の概要

国の施設	既設	新設
弘法川・荒河排水機場	常設 10 m ³ /秒	可搬式+3 m ³ /秒
弘法川排水機場		常設 +9 m ³ /秒
法川排水機場	常設 12 m ³ /秒	排水ポンプ車ピット11 m ³ /秒相当 可搬式+15 m ³ /秒
府の施設	既設	新設
弘法川・新荒河排水機場		常設 +11 m ³ /秒
弘法川・荒河調整池		20万m ³ 掘削
弘法川・法川河川改修	弘法川L=1.9 km 法川L=0.2 km	弘法川L=3.0 km 法川L=1.4 km
市等の施設	既設	新設
[下水] 和久市ポンプ場	常設 8.4 m ³ /秒	常設 +1.0 m ³ /秒 合流区域集水管増強 貯留施設等整備 10,000 m ³
[その他] オンサイト貯留調整池等整備ソフト対策		20,000 m ³ 210,000 m ³ 内水ハザードマップ作成による避難警戒意識啓発等

「総合的な治水対策」を同年12月にとりまとめました。この対策は翌平成27年度に着手し、令和2年5月末で概ね完了しました。国は令和3年3月に「流域治水」を打ち出しました

い状況で前線による豪雨で再び由良川水位が上昇しました。このため由良川から法川、弘法川への逆流を防止する樋門を閉鎖しましたが、排水ポンプ能力を上回る時間50mm以上の局地的豪雨が3度あり、市内を流れる河川からの溢水も加わり、市街地で大規模浸水被害が発生しました。

法川排水機場、荒河排水機場、弘法川救急排水ポンプを整備しました。

「平成26年8月豪雨被害に対する取組の概要と要点を教えてください。」

災害直後に国、京都府、福知山市により「由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策協議会」を立ち上げ、三者連携による5カ年の短期対策として同規模の豪雨に対して床上浸水被害を概ね解消する「総合的な治水対策」を同年12月にとりまとめました。この対策は翌平成27年度に着手し、令和2年5月末で概ね完了しました。国は令和3年3月に「流域治水」

「総合的な治水対策」における国・京都府・福知山市の役割分担は? 国は由良川本川の樋門閉鎖により生じる内水被害を軽減する排水ポンプ増設等を、府は弘法川、法川の河川改修と内水被害軽減の貯留施設・排水ポンプ新設等を、市は下水道の雨水排水ポンプ増設、流域での雨水流出抑制のための調整池や内水ハザードマップ作成による避難警戒意識啓発等を分担しています。



法川排水機場に増設された可搬式排水ポンプ

「今回の対策は5カ年の対策ですが、中長期的な課題は何でしょうか。」
本対策は平成26年8月豪雨による床上浸水を概ね解消するもので、床上浸水まで解消できるものではありません。また、気候変動により安全度が目減りすることも想定しておく必要があります。このことを踏まえ、流域治水の取組を加速化・深化させるため、新たな浸水対策も視野に入れた「流域治水プロジェクト2.0」を令和5年8月に策定しました。

「ありがとうございます。」

1.由良川水系河川整備計画【国管理区間】(平成25年6月国土交通省近畿地方整備局) 2.令和5年度事業概要(福知山河川国道事務所) 3.由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策について(平成26年12月24日 近畿地方整備局・京都府・福知山市) 4.由良川・福知山市街地における総合的な内水対策について(平成27年1月20日 近畿地方整備局「由良川・福知山市街地における総合的な内水対策の計画段階評価に関する有識者委員会」資料③) 5.社会資本整備審議会河川分科会(第65回)資料(令和5年7月28日) 6.平成26年8月豪雨災害の記録(平成27年3月 福知山市)